

たかはぎ

議会だより

2023.11

No.176

たかはぎ認定こども園運動会

令和5年第3回定例会

会期 9月1日～9月19日

- 議案に対する質疑…………… 4
- 討論…………… 5
- 委員会審査報告…………… 6
- 市政に対する一般質問…………… 7

高萩市議会
ホームページ



令和5年第3回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第13号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率 6.9% 将来負担比率 31.9%	—
報告第14号	高萩市資金不足比率について	水道事業会計 なし 工業用水道事業会計 なし	—
議案第37号	高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の条文の一部が削除されたことによる条項ずれの改正等を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第38号	高萩市火災予防条例の一部改正について	消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、蓄電池設備に係る基準の見直し等を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第39号	令和5年度高萩市一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算に、1億4,744万3千円を追加するもの。たかはぎシニア生活支援事業経費の追加等。	原案可決 (全員賛成)
議案第40号	令和5年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、1千69万3千円を追加するもの。国民健康保険事業費納付金の増等。	原案可決 (全員賛成)
議案第41号	令和5年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、80万6千円を追加するもの。後期高齢者医療広域連合納付金の増。	原案可決 (全員賛成)
議案第42号	令和5年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、1億2,721万4千円を追加するもの。国県支出金及び支払基金過年度分返還金等の増。	原案可決 (全員賛成)
議案第43号	令和5年度高萩市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出を35万4千円減額するもの。人事異動に伴う人件費の減等。	原案可決 (全員賛成)
議案第44号	令和5年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出を83万5千円増額するもの。人事異動に伴う人件費等の増。	原案可決 (全員賛成)
議案第45号	令和4年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入 142億7,739万115円 歳出 134億5,672万6,522円	原案可決 (賛成多数)
議案第46号	令和4年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 29億570万2,795円 歳出 28億7,551万3,161円	原案可決 (賛成多数)

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第47号	令和4年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 4億2,957万926円 歳出 4億2,876万5,466円	原案可決 (全員賛成)
議案第48号	令和4年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	(保険事業勘定) 歳入 28億1,921万8,130円 歳出 26億9,252万2,725円	原案可決 (全員賛成)
議案第49号	令和4年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 2,897万3,673円 歳出 2,807万2,960円	原案可決 (全員賛成)
議案第50号	令和4年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入 7億591万7,305円 収益的支出 5億7,593万6,114円 資本的収入 8,024万1千円 資本的支出 3億2,921万8,727円	原案可決 (全員賛成)
議案第51号	令和4年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入 2億645万7,660円 収益的支出 1億6,633万1,915円 資本的収入 0円 資本的支出 9,343万9,822円	原案可決 (全員賛成)
議案第52号	高萩市水道事業会計利益の処分について	令和4年度末未処分利益剰余金残高1億9,988万3,432円のうち8千万円を減債積立金に積立て、1億1,049万4,319円を自己資本へ組み入れる。	原案可決 (全員賛成)
議案第53号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	令和4年度末未処分利益剰余金残高6,599万2,112円のうち2,500万円を減債積立金に積立て、3,090万5,490円を自己資本へ組み入れる。	原案可決 (全員賛成)
議案第54号	高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	次の次の一般選挙より、議員定数を14人から12人に改めるもの。	原案否決 (賛成少数)
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ派遣するもの。	原案可決 (全員賛成)
意見書案第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	今回提出された陳情の採択により、議会としての意見書を政府に提出するもの。	原案決議 (全員賛成)

提出された議案等について、内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

議案質疑

議案第39号 令和5年度高萩市
一般会計補正予算(第4号)

菊地 正芳 議員

質問 災害対策費の中の、備品購入費50万6千円の内容について伺う。

市民生活部長 津波避難階段が整備されている市営住宅等に、災害時用として備えている簡易トイレなどを保管する収納ボックス10台分の購入費用となります。主な収納物としては、ダンボール製の簡易トイレ、トイレ用のテント、ブルーシート、土のう4袋、保存水2リットルペットボトルのもの4本等を予定しております。

質問 避難所と津波避難ビルの違いを明確にして、津波避難ビルには飲食料などの備蓄がないことを知らせ、持参してもらおうことを周知すべきと思うが伺う。

市民生活部長 以前より周知しておりますが、引き続き周知に努めてまいります。

質問 利用するためのマニュアル、いわゆる手順表を作成して一緒に保管することについて考えを

伺う。
市民生活部長 誰でも対応ができるように、簡単に分かりやすい内容の説明書を用意することを検討しております。

坪和 久男 議員

質問 会計事務経費100万円、9月に補正して収入印紙を補充する理由を伺います。

会計管理者 8月末までの販売実績が予算の約9割を既に消化してしまつたことにより、9月に100万円の増額補正をするものです。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、人々の移動が再開・活発化したことにより、パスポート申請者も大きく増加したことが要因と考えております。

質問 ライトアップイベント開催委託料20万円の事業内容について伺います。

産業建設部長 10月21日(土)、22日(日)にさくら宇宙公園で開催するライトアップイベント「TAKAHAGI STAR NIGHT」の事業費を増額するものです。21日にランタン400個を一斉に打ち上げ、秋の夜空を彩ります。また、両日とも、さくら宇宙公園内を竹ランタンや口ウソク

などによりライトアップするとともに、パラボラアンテナへのプロジェクションマッピングなどを実施いたします。



昨年のライトアップイベントの様子

吉川 道隆 議員

質問 たかはぎシニア生活支援事業について、配付する商品券は既成のギフト券ということだが、なぜ地域振興券のような高萩市内の店舗で使える券にしなかつたのか。

健康福祉部長 従来のクーポン事業は店舗との調整、クーポンの作成、使用後の店舗からの回収と換金という様々な時間と経費が必要になるので、今回は、使用期限が

なく、対象者に早く届けられ、どこでも使用できるギフト券を配付することにしました。

質問 今回のギフト券は市内で利用できる店舗は何件あるのか。

健康福祉部長 全国で利用可能だが、市内で利用できる店舗は把握していない。

質問 さくら宇宙公園に整備する新しいトイレの設置場所はどこか。既存のものは浄化槽が破損しているが、新しいものができるまで利用できるのか。

教育部長 工事費を抑制するため、昨年度敷設した下水道管に接続できるよう、既存のトイレの道路を挟んだ南側に設置する。既存のものは通常時使用を控える。



討 論

議案第54号 高萩市議会議員の
定数を定める条例の一部改正に
ついて

反対討論 平 正三 議員

議員定数問題は、議会運営の基
本に関わる重要な問題です。その
ために、慎重に審議し、多様な意
見を結集して決めていかなければ
なりません。それが、改選を前に
した9月議会の最終日に、何の前
触れもなく一方的に議員定数削減
条例案を提案することは、議会制
民主主義を軽視し、まさに、暴挙
と言わざるを得ません。ましてや、
4年後の定数を、今決めなければ
ならない理由も根拠も正当性もあ
りません。

議員定数14名のところ、2名欠
員で行っても議会運営に問題な
かったことを、議員定数削減の理
由と聞いていますが、法制度上不
可能であり、欠員のまま不正常な
議会運営をせざるを得なかっただ
けです。

議会は市民の代表機関であり、
市民の多様な意見が市政に反映で
きるような議員定数にしていくべ
きであり、現在の議員定数14名を

維持すべきであります。

今回の議員定数削減条例案は、
議会制民主主義を軽視する暴挙で
あり、撤回を強く求めて、反対討
論とします。

賛成討論 菊地 正芳 議員

我々議員は、目先のことでだけ
取り組めばよいということではな
い。未来を見据え、未来にレール
を敷いていく大事な使命を担って
いる。なので、今回の提出に踏み
切ったわけである。

定数削減については、必ずと
言っていいほど様々な理由をつけ
て反対が起きる。だからこそ、こ
うしたレールを敷いておかなけれ
ば、議会改革、身を切る改革はで
きない。

私は、議員という使命を頂き、
使命があるうちに未来に向けての
くさびを打っておきたいと思っ
ている。借金が増加していく速度よ
りも人口減少の速度が早いという
現実を突きつけられても、まだや
るべきことが見えていないのか。
覚悟が決まらないのか。責任を負
わせる行為であると言っているか。
それこそ無責任発言であり、議員と
して未来を開く使命を忘れた愚か
な存在であると断言する。

いま一度言う。今回の議案提出
は、高萩市の未来を開くために必

要なレールを敷くことであると強
く申し上げ賛成討論とする。

反対討論 我妻 康伸 議員

提出された議員定数削減の議案
は、次の次の一般選挙から施行さ
れるというもので、来月行われる
選挙の定数ではありません。次の
選挙、つまり4年後の定数を今議
会で決めるというのは、全く理解
ができません。人口減少の続く
中、定数の見直しはとも必要で
ある、重要であると認識しており
ます。

どうして今、4年後を決めるの
か、納得できません。無責任であ
ると思います。来月の選挙で市民
の皆さんから選ばれた議員で決
めていく課題だと私は思っていま
す。そういう思いで反対討論とい
たします。

賛成討論 吉川 道隆 議員

議員定数削減について慎重に審
議すべきという意見もあるが、こ
のような議会改革を議論すべき場
であった「議会改革特別委員会」
は、改革すべきことはないからと
いう理由で解散したという経緯が
あった。4年前も同じ状況で、唐
突に出して定数削減を実現した。

定数削減は、我々の任期の最大
の改革になると思う。しっかりと市

民のニーズに合わせる、今の財政を
見つけ直すことが大事。

いろいろな方から議会の定数を
見直したほうがいいという意見を
よく聞く。来月の選挙から削減し
たほうがいいという意見もある
が、今回の選挙では若い方々が5
人立候補すると聞いている。ここ
で2人削減してしまったら、せつ
かく立候補した若い方の芽をつぶ
してしまつのではないか。であ
れば、道筋を立ててあげて、議会
の中で、若い人を含め、様々な年代
の意見を活発に取り入れて、4年
後はしっかりと定数削減して財政を
見つけ直して、議会改革をしてい
くべき。



委員会審査報告

総務産業委員会

9月14日、当委員会に付託された議案4件の審査を行った。

○令和5年度高萩市一般会計補正予算(第4号)

問 新規就農者育成総合対策補助金について伺う。

答 新規就農者に対して、就農直後の経営がまだ不安定な時期を支援し、早期の経営安定を図るための補助金です。今回新たに市内で就農され、高萩市農業改善計画認定審査会において就農計画が認定された1名の方に対する今年度支援分150万円となっております。今後、令和7年度までの3年間支援予定です。なお、財源につきましては、全額、茨城県新規就農者育成総合対策補助金となっております。



文教厚生委員会

9月8日、当委員会に付託された議案5件、陳情2件の審査を行った。

○令和5年度高萩市一般会計補正予算(第4号)

問 たかはぎ認定こども園の保育室水道小型温水器設置工事請負費102万3千円について伺う。

答 園児たちが毎日利用している6か所の保育室には、園児用の小さな水道が設置されていますが、現状では温水設備のない通常のものとなっております。開設から約1年半が経過し、実際に施設を利用していく中で、当初は想定していなかったのですが、昨今のコロナ禍における手洗い、うがい等が積極的に励行されている中にありまして、特に秋から冬にかけて冷たい水による手洗い、うがい等を嫌がる園児が非常に多いという経緯がありました。今回、温水器を設置することにより水道を温水化して、園児たちに快適な環境を整えるとともに、コロナやインフルエンザ等の感染症予防効果の向上を図るためにも、寒い冬を迎える前に、9月の補正予算に計上いたしました。

決算特別委員会

9月14日、15日、当委員会に付託された議案9件の審査を行った。

○令和4年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

問 高萩こころの里支援寄附金について、件数、そのうち県内と県外の件数、最高額について伺う。

答 高萩こころの里支援寄附金(ふるさと納税) 217万6千円の納付件数は、817件です。そのうち県内は136件、県外が681件です。寄附者一人当たりの最高額は60万円です。

問 準用河川玉川改修事業の計画書作成委託料231万円の事業計画の内容について伺う。

答 現在、最下流の関根川合流部より上流約340メートルの区間が整備済となっているところです。現状に則した改修事業計画の見直しを行っており、具体的な改修については、JR・国道6号などの横断部分について様々な課題があるため、現在、国道6号より上流について検討を行っているところです。

○令和4年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 国民健康保険支払準備基金の基金残高と積立金の活用についての考えを伺う。

答 令和4年度末の基金残高は2億8903万9922円です。医療費の増加に伴う県に納付する事業費納付金の増加、人口減少に伴う国保の被保険者数の減少が見込まれ、国保事業運営の必要財源を確保するために国保税の負担増が懸念されます。被保険者に急激な税負担の変化が生じないように基金を調整財源として活用したいと考えています。

○令和4年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 合葬式墓地について、通常合葬の総区画数が252、使用区画数が168、残りが84、直接合葬の総区画数が干、使用区画数が206、残りが794です。通常合葬は残りあと84区画です。これが埋まった場合どういう考え方が、計画があるのか伺う。

答 年間に25件ほど通常合葬が入っており、あと四、五年でいっぱいになる可能性があります。今の合葬墓地の上に、あと2段ほど設置できるようになっており、それで約130室となるので、今後の入る数を見込みながら計画したいと考えています。



寺岡七郎
議員



財政問題について

質問 給食費の無償化を要望している議員がおります。私も無償化には反対ではありませんが、今要望することは10月選挙に対するパフォーマンスなのか。それとも真剣に考えているならば、その財源について要望があったのか。

企画総務部長 要望書は、新たな財源の確保や小中学校給食費無償化の早期実施を要望する内容です。ご質問の財源の記述については、財源の確保を要望するという表現にとどまるものです。

質問 高萩市の財政を平成7年（人口ピーク時）と令和4年で比較すると、平成7年は、人口3万5600人、税収約44億円、借金約91億円、令和4年は、人口2万6700人、税収約40億円、借金約128億円であり、人口は8900人の減、税収は約4億円の減、借金は約37億円の増である。市民1人当たりで換算すると、税額は、平成7年約12万円、令和4年15万円で、約3万円の増。借金は、平成7年約25万円、令和4年約48万円で、アップ率は88%。これは、算出の基となる分母の人

口の減少速度が極めて速いということである。2045年には、さらに人口が約9千人減少すると推計されている。今後はスリム化して徹底した行革をしていかなければ、持続可能なまちづくりはできない。市長の覚悟を伺う。

市長職務代理者（副市長） これまでも市民の皆様の協力を頂き、着実に取り組んできましたが、引き続き緊縮と投資のバランスが取れた財政運営に全力で取り組みます。



市役所からみた市街地

その他の質問

○工業用水について



平 正三
議員



保育料の無償化について

質問 北茨城市と日立市は、保育料は2人目から、ゼロ歳児から2歳児まで無償化が実施されている。ゼロ歳児から2歳児までの保育料無償化を実施すべきである。市長職務代理者（副市長） 保育料は、自治体間格差が生じないよう、国が進めるべきと考える。

国保税減免について

質問 令和4年度から20歳未満の子どもの国保税均等割が半額となり、子育て世帯の経済的負担が軽減された。その減免額と基金残高について伺いたい。

市民生活部長 減免総額は461万3386円である。基金残高は2億8903万9922円である。質問 基金を活用して、20歳未満の均等割を免除すべきと考える。市長職務代理者（副市長） 基金の活用は慎重に検討していきたい。

小中学校体育館へのエアコン設置について

質問 エアコン設置について

ように考えているのか。
教育部長 小中学校体育館への空調設備の導入について、昨年度から検討している。

交通安全対策について

質問 市道1261号線、千代町団地北側道路の整備を単独事業で行うべきである。速度制限を30キロにしてほしいとの要望がある。産業建設部長 単独事業は非常に困難である。速度規制は関係機関と協議するとともに、路面標示や注意喚起の実施を検討していきたい。

質問 市道102号線、朝日団地の信号機から東に800メートルの区間に、センターラインなどの路面標示を行うべきである。産業建設部長 計画的に実施していきたい。



市道102号線 朝日団地信号機



八木陽子
議員



遠隔医療について

質問 遠隔医療とは、ICT情報通信技術を利用して医療過疎地など、どこでも診療を受ける機会を提供でき、社会保障費の抑制と、災害時には医療の後方支援なども目的としています。新型コロナウイルス感染症の流行で対面診療が受けられず、市民は大変不安な思いをしました。遠隔医療を行う自治体のメリットは、地域医療格差の解消、早期発見や予防につながり、医療の効率化が図られ、社会保障費の適正化につながります。患者さんは、交通問題、診療待ち時間の解消、診療費の負担減になるメリットがあります。初診料は対面が288点、遠隔が251点と負担が少なくて済みます。医療の中間点の役割を担う遠隔医療の事業に、ぜひ取り組んでいただきたい。

市長職務代理者（副市長） 遠隔

医療については、医療の質の向上、患者の利便性の向上、医療の地域格差の是正や地域医療の充実の観点から、近年ますます需要が高まっています。八木議員が以前から掲げていたとおり、通院に伴

う患者のリスクの軽減や感染症の感染リスクの軽減が期待されるうえからも、遠隔医療の推進は大変重要と認識しています。本市においては、導入検討医療機関に対し、すでに導入している医療機関を紹介する等により、医療機関の連携関係の構築を支援していることや、必要に応じて国の予算・事業の活用を検討し、多賀医師会と連携を取り、遠隔医療の推進を図っていきたくと考えています。



その他の質問

○あんしん救急医療情報便について
○制服のリサイクルについて



岩倉幹良
議員



財政問題について

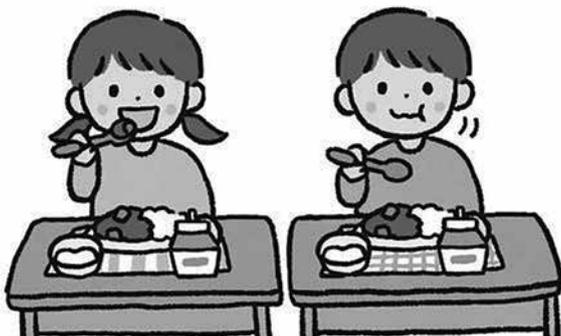
質問 令和5年3月定例会において、財政調整基金は令和9年度には枯渇すると推計しているとの答弁をされましたが、現時点での財調の残高と今後の財政運営についてお尋ねいたします。

企画総務部長 令和5年3月定例会で令和9年度には基金が枯渇し、予算編成が困難になる見通しであると答弁いたしました。現時点において大きな変化はありません。令和5年度末残高は、5億6800万円に変化がありませんので、引き続き公共施設の集約化・複合化による管理運営のスリム化、事務事業の見直しや再構築などの行財政健全化などに取り組み、持続可能な財政運営に努めなければならぬと考えております。

質問 財政の厳しいことは承知の上ですが、なお一層の努力をお願いいたします。過口、市議有志が給食費の無償化の早期実施と実現に向けた新たな財源の確保を求め、市長に要望書を提出しました。市長は恒常的な予算の確保が見通せれば速やかに実施させたいとのことですが、そのため

の費用として約8700万円が必要といわれます。今の財政状況において捻出できるのか、見通しのほどをお尋ねいたします。

教育部長 事業の見直しや他の財政施策を踏まえた検討を行い、新たな財源が確保できれば、子育て支援策の一環として、給食費の無償化を検討したいと考えておりますが、現時点においては困難であると考えております。



子育て支援事業について
 質問 市の人口はこの15年間で6千人以上減少しており、本年7月の人口は2万6310人になりました。特に若い世代と子供の減少が著しく、65歳以上の高齢化率はおよそ38%になっています。高萩市は、まさに少子高齢化社会になっています。高萩市を活性化し、持続可能なまちにするには、財政の健全化を図りつつ、若い世代が暮らしやすいまちを目指し、人口減少対策を強力に推進する必要がありますと考えます。その方策として、子育て支援をさらに充実させることが求められています。そこで、第2期高萩市秋っ子・子育て支援事業計画における目的、趣旨、基本的な考え方について伺います。



田所和雄
議員



は、「すべての子育て家庭が安心できる支援の充実」、「個性あふれる健やかな秋っ子の育成」、「地域の子育て環境とサポート力の向上」となっています。



高齢者の介護予防施策の推進について

質問 シルバーリハビリ体操の普及促進について、市長の考えを伺います。



坪和久男
議員



市長 健康づくりや生きがいづくりに関する各種施策を推進する一方で、シルバーリハビリ体操等の普及を一層進め、ウェブサイトやソーシャルメディアを通じて講習会情報を発信し、若い世代へのアプローチ、既存会員の皆様や関係者等からの口コミ、友人・知人の紹介など、市民への普及啓発を促進するために、今後もシルバーリハビリ体操指導士会や関係機関と連携を図りながら、取り組んでまいりたいと考えております。



シルバーリハビリ体操

質問 今年度の体操指導士増員計画について伺います。

健康福祉部長 茨城県の第8期いばらき高齢者プラン21に基づき、シルバーリハビリ体操指導士養成事業を実施しており、高萩市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画において、体操指導士3級は、令和5年度5人を養成する計画となっております。

人口減少対策について

質問 令和2年9月定例会に市民雇用奨励金（企業に10万円）、就職奨励金（就職する学生に10万円）の創設を提案しましたが、調査研究結果について伺います。日立市は、今年から日立市高等学校等新規卒業者就職祝金30万円を創設しました。

産業建設部長 今後の雇用動向や他自治体の成果などを注視しながら、引き続き検討してまいりたいと考えております。





菊地正芳
議員



安全・安心のまちづくりについて

質問 埼玉県久喜市では、市の公用車や市内の協力事業者の車に搭載されたドライブレコーダーを、動く防犯カメラとして活用する見守り活動を開始した。事件や事故が起きた際に、警察署にドライブレコーダーの記録を提供する協力事業者は、8月9日現在で、タクシー会社など計10社、市の公用車も含め237台が走行している。令和3年6月から取組を始めた室蘭市では、現在600台以上の車両に協力をいただいている。このように、市が協力を依頼する事業者等の保有する車両に搭載されたドライブレコーダーを、動く防犯カメラとして有効活用することで犯罪抑止力を向上させ、地域全体でまちの見守り体制の充実及び強化をしていくことが出来ると考えるが市長の所感を伺う。

市長 動く防犯カメラの導入に当たりましては、公用車へのドライブレコーダー搭載率100%を早期に進めた上で、関係機関と協議し、検討して進めてまいります。



安全・安心な学校生活を送るための環境づくりについて

質問 1日の大半を過ごす学校で、水分を補給する場面は多くあると思う。熱中症予防の観点から、水分補給のときにはぜひ冷たい水を取れるように、直結式冷水機を設置を検討する必要があると思うが市長の考えを伺う。

市長 直結式冷水機も熱中症対策に有効であると認識はしておりますが、配管など整備面での制約やメンテナンス等の課題も多くあります。導入につきましては、今後の研究課題としてまいります。



吉川道隆
議員



ベビーファーストについて

質問 本市は今年7月、県内市町村で初めて、全国青年会議所が推奨するベビーファースト宣言を行った。その新たな取組として、市役所と総合福祉センターに、子育て世代優先駐車場と優先窓口を設置したが、その駐車場には屋根がないので、ふさわしくないのでは。

市長 宣言をしてからまだ一、二か月で、ハード面については、予算を得ていないので、整備できていない。今後検討する。

質問 保護者の負担軽減のために、ベビー用品のレンタルについて無償または助成金を出している自治体がある。または、不要になったベビー用品を点検・修繕・清掃してリユースを進める自治体もある。本市もベビーファーストの一環として検討してはどうか。

市長 どのような形の支援が本市にふさわしいか、子育て世代の方々から意見を集め、検討したい。

通学路について

質問 秋山小学校区の島名消防団詰所前は、交差点の横断歩道が一

部にしかついでいないので、不便で危険である。設置を検討しては。

教育部長 警察署を含む合同点検で現地を確認した。高萩警察署において横断歩道の設置を検討している。



島名 横断歩道のない通学路

安良川公民館跡について

質問 跡地を利用して道路幅を広げ、右折レーンを設置する件について、道路管理者である県に要望するとの提案はどうなったのか。

市長 県としては、国道461号については全ての事業が完了している。新たに事業化はできないが、信号を時差式にして右折車の対策を検討することであった。

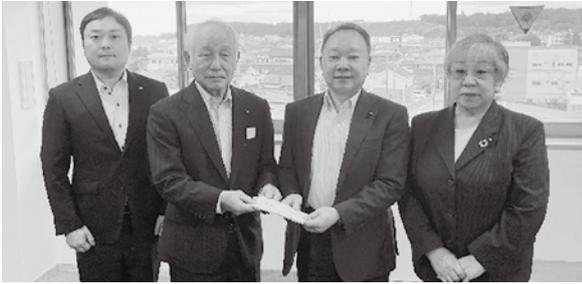
その他の質問

○制服・体操服のリサイクルについて

請願・陳情の審議結果

件名	結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情	採 択

常総市議会より災害見舞金をいただきました



常総市副議長 常総市議長 今川議長 八木副議長

10月10日、常総市議会議長、副議長が来庁され、台風13号に伴う豪雨による本市の災害に対し、常総市議会から災害見舞金をいただきました。

いただいた見舞金は、災害復旧関連事業の財源として、有効に活用させていただきます。



8月1日、北茨城市議会議員との合同による研修会を開催しました。ADS株式会社代表取締役の廣水乃生氏をお招きし、「SDGsからSXへ」持続可能な高萩市・北茨城市の姿とは」をテーマに、ご講演いただきました。

GXやDXの議論を共有しつつ、高萩市や北茨城市など、山と海両方もつ自治体の可能性について伺いました。

高萩市・北茨城市 両市議会議員研修会

議会日誌

18日	11日	2日	10月	28日	27日	19日	1日	9月	31日	24日	23日	8月
議会広報委員会	議会広報委員会	議会全員協議会	議会全員協議会	高萩・北茨城広域事務 組合議会定例会	茨城県北市議会議長会 定例会	議会広報委員会	第3回定例会	議会全員協議会	議会運営委員会	議会全員協議会	議会運営委員会	議会運営委員会

声の広報 (議会だよりの 音声版)

音声版



ポランティアグループ「高萩読みかきせグループ」が音訳した『議会だより』を、ホームページから聞くことができます。

市民の声

本町在住 A・Gさん

私が高萩へ引っ越して来るようになったのは、父の「こっちへ来ないか」の言葉でした。

当時、専門学校に通うため上京していた私は、学校卒業後も就職できず、アルバイトをして生活していました。そのまま数年が経ち、どんどん生活が苦しくなっていた時に、父から「こっちへ来ないか」と言われ、私はそれを受け入れました。

こちらへ来てからは、就職活動はなかなかうまくいかず、様々な事がありました。

リーマンショックで仕事がなくなり、数か月の間ハローワークのお世話になったり、東日本大震災で仕事ができないなど、職を転々としていました。

高萩に来て20年くらいでしょうか。いろいろとありましたが、周りの方々にも恵まれ、たくさんの方の助けを借り、今では工場で正社員として働かせていただいています。

そんな私の住む高萩を支え発展させていくには、市民の声を聞いてくれる市議会議員が必要です。高齢者が多く、若い人たちの声が届きにくいと思いますが、若者の声をしっかりと聞き入れてくれる、そして老若男女が住み良いまちをつくってほしいと望んでいます。

新たに選出されました議員の皆様には、大いなる期待をいたします。

また、私たちが選挙で、今後4年間に託す議員を選んだ責任と自覚が問われることを忘れないようにしたいです。



令和5年第4回定例会（12月）予定

12月の定例会日程については、高萩市議会議員一般選挙後、新任期となる11月23日以降に決定する予定です。

詳しい日程は、12月初めに、高萩市議会ホームページ、新聞折込「議会のお知らせ」などでお知らせします。



インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	ユーチューブ	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーチューブを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。

○FM放送は、全てたかはぎFMです。

※本会議については、これまでの録画もご覧いただけます。

議会広報委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 八木陽子 |
| 副委員長 | 坪和久 |
| 委員 | 大菊正芳 |
| | 我妻要二 |
| | 岩倉康伸 |
| | 渡辺悦夫 |

この議会だよりが届く頃には新たな議員が選出されているでしょう。議会による意思決定は全会一致が望ましいが、それが出来ない場合は、良いも悪いも多数意思で決定される。それは民意として市民生活に直結することを、常に忘れてはならない。議会や議員の責務は大きく、議員力アップが求められる。

選挙期間に市民と約束したことを有言実行する時を迎えました。毎回の一般質問、委員会等での活発な議論の展開を市民は待ち望んでいる。市議会は新たな決意のもと市民の期待に応えてまいります。

(菊地 正芳 記)

編集後記